日本學術協會第二回大會

日本學術協會は、昨年學術研究會議の斡旋で成立したものであつて、その主なる目的は學術の綜合的振興を圖るにある。此の企ては歐米諸國又東印度などでも既に多年前から實行してゐるものである。科學及其の應用の研究、それ等の教育に從事するもの、且又これに趣味を有する者は、誰でも會員ニ成り得るのであるが、通常會員の會費は年額五圓であり、單に大會のみに出席するものは臨時會員ニして少額の會費(第二回大會のは一圓)で講演を傍聽し、又見學に參加するこニも出來る。然し臨時會員は本會の記事大會の講演などを載せた報告書の配布を受けない。

第一回大會は、發會式ニ共に、昨秋東京に於て、古在東京帝國大學總長を會長ニして行はれ、其の報告は六百餘頁の大册子ニして既に會員に配布された。第二回大會は本年十月十六日(土曜日)から十九日(火曜日)まで京都市に於て擧行する筈で、事務所は京都帝國大學本部内に設けられてある。本年の會長は荒木京都帝國大學總長で、川村理學部教授が副會長ニして實務に當つて居られ、若干名の理事及評議員ニ屢々會議を開いて、大會の準備に盡力中である。

今回の第二回大會は主に京都帝國大學構内で擧行し、その日程は大體次の樣である。

十月十六日	(土)	**午前**	總會、會務報告、次期役員改選、會長演說等、
		午後	第一部及第二部に於て學術講演、第三部に於て理科教育講演
		晩	會員懇親會
十月十七日	(日)	**晝間**	第一部及第二部に於て學術講演
		晩	通俗講演(京都市及大津市に於て)
十月十八日	(月)	**午前**	第一部及第二部に於て學術講演
		午後	總會、歡迎園遊會
十月十九日	(火)	**午前**	拜觀
		午後	見學

今日までの所、下の諸氏が大會に出席して講演されるこニは確實ニなつてゐる。

北海道帝國大學教授理學博士	宮部金吾氏
東京帝國大學名譽教授理學博士	長岡半太郎氏
理化學研究所長貴族院議員工學博士子爵	大河内正敏氏
東京帝國大學教授兼東京天文臺長理學博士	平山信氏

東京帝國大學教授理學博士	藤井健次郎氏
東京帝國大學教授理學博士	脇水鐵五郎氏
東京帝國大學教授農學博士	麻生慶次郎氏
理學博士	龜高德平氏
東京醫學校教授	川本宇之助氏
京都帝國大學教授工學博士	平野正雄氏
同　同	渡邊俊雄氏
滿洲醫科大學教授文學博士	黑田源次氏
中央氣象臺　理學士	築地宜雄氏
東京高等師範學校教授理學士	小野澄之助氏
京都帝國大學教授工學博士	金子登氏
東北帝國大學教授工學博士	井上仁吉氏
同　理學博士	神津淑祐氏
九州帝國大學教授理學博士	桑木彧雄氏
同　工學博士	西川虎吉氏
同　同	荒川文六氏
高等園藝學校教授理學博士	川村清一氏
工學博士	田中龍夫氏
金澤醫科大學教授醫學博士	古畑種基氏
大阪府教育主事	大島鎮治氏
鳥取高等農業學校教授農學士	角倉邦彥氏

以　上

拜觀及見學に就ては、尙ほ未だその交渉を了へないものもあるから、確定したものではないが、先づ左の諸所の見込である。

御所、二條離宮、修學院離宮、西本願寺飛雲閣、東本願寺枳殼邸、日本電氣株式會社、同鉛粉工場、島津製作所、上野製作所、陶磁器試驗所、京都市塵埃燒却所、鐘紡工場、鐘紡山科工場、錦光山陶磁器工場、杉本精練工場、川島織物工場、等、

各係委員氏名

(一)庶務係	大幸勇吉	大杉繁	龜高德平
	川村多實二	山本一清	青柳榮司
	宮澤清三郎	新城新藏	正路倫之助
(二)會計係	橋本傳左衞門	谷津直秀	

(三)接待係	西内貞吉	鳥潟隆三	近重眞澄
	渡邊俊雄	和田健雄	吉田卯三郎
	龜高德平	桑田義備	國枝元治
	谷津直秀	前田鼎	湯淺八郎
	宮澤清三郎	志方益三	
(四)講演係	市河三祿	石川日出鶴丸	石野又吉
	逸見武雄	鳥養利三郎	玉城嘉十郎
	園正造	永井潛	松尾巖
	松山基範	郡場寛	駒井卓
	小松茂	齋藤大吉	清野謙次
	喜多源逸	三宅驥一	鈴木文助
(五)交渉係	小川琢治	大井清一	大藤高彦
	龜高德平	田邊朔郎	藤浪鑑
	青柳榮司	三宅驥一	森島庫太
(六)懇親會係	堀場信吉	松村鶴造	
(七)見學係	武田五一	喜多源逸	

會員歡迎

別頁日程によつて日本學術協會（Japanese Association for the Advancement Science）の第二回大會を開きます。本會は我國の學術の振興を圖るのが目的でありまして、今回は創立後まも無い大會でありますが、成るべく多數の人が會合して、知識を廣め、兼て親交を圖りたいのでありますから、未だ會員になつて居られない方々は、此際通常會員（會費一ケ年金五圓）か又は臨時會員（會費金壹圓、大會報告書を貰はないだけで、他は通常會員と同樣に、演說、見學、園遊會にも出席が出來ます）に申込んで下さい。臨時會員は住所姓名職業を記入して會費金壹圓を振替で御送り下されば直に會員證を送ります。

日本學術協會

事務所　東京市本郷區帝大理學部動物學教室内

（振替貯金口座番號東京七一四三八番）

臨時出張所　京都市吉田町帝國大學本部

大正十五年八月